

安楽寺だより 第46号

〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-18 電話: 03-3451-1509 住職携帯: 090-7284-0378

発行者: 藤澤 克己(安楽寺住職) ホームページ: <http://www.anraku-ji.org/>

(安楽寺だよりは1月・4月・7月・10月に発行します)

季節の移ろいを感じながら

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス感染症により大きく影響を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。医療従事者をはじめ感染防止にご尽力されている関係者の方々には心から感謝いたします。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が初めて出されて約1年が経ち、以来、感染しない・感染させないよう留意して生活してきました。ようやくワクチン接種の準備が始まりましたが、まだ厳しい状況は続いています。

多くの方が行き場の無い閉塞感を感じ、この生活がいつまで続くのか、今後世の中はどうなるのかと大きな不安を抱えていることでしょう。この閉塞感が早く解消されることを願わずにはられません。



しかし、このような時でも自然界の営みは着実に、少しずつ移り変わっています。枯れ木立は新緑を芽吹かせ、地中に眠っていた生き物も動きはじめます。

「諸行無常」とは生命の儂さ^{はかな}を意味する言葉として馴染み深い語句ですが、本来、この世のものは絶え間なく変化し続けるという事実をありのままに述べた仏教真理の一つです。

何も変わらないということはありません。私たちを取り巻く状況は**必ず**変化していきます。季節の移ろいを感じながら、焦らず諦めないで過ごしていきましょう。

《あれこれ抄》

▼春の「安楽寺だより」をお届けします▼東京オリンピック・パラリンピックの大会ビジョンには「スポーツは世界と未来を変える力がある」とあります▼競泳の池江璃花子選手が白血病から復活しオリンピックの代表権を得たニュースは多くの人に感動と希望を与えてくれました▼この四月に新入生・新社会人になったみなさん、おめでとうございませぬ▼先行き不透明な時代に新たな生活を始めるのは大変なことでしょう▼この困難に立ち向かう経験は将来きつと役に立つはずです▼頑張れ！▼おかげさまで住職は元気に還暦を迎えました▼孔子は「六十にして耳順う」と言ったそうです▼人の意見に素直に耳を傾けることの大切さを改めて実感しているところですよ

春彼岸にようこそお参りくださいました

3月20日の春分の日(お彼岸のお中日)に春の彼岸会法要を行いました。普段だどお経本を配りみなさんと一緒に大きな声でお勤めするのですが、コロナウイルス対策として住職だけのお勤めとしました。



(参拝して下さった鈴木家・横澤家のみなさん)



お彼岸の頃、ちょうど桜の見ごろの時期と重なったので、お墓参りの帰りにお花見を楽しまれる方もいらっしゃったようです。安楽寺墓地にも沢山の綺麗な花が供えられ、華やいだ雰囲気になりました。



お盆のお参りについて

東京近郊のお盆参りは7月15日を中心に行われます。新盆(初めて迎えるお盆)のご家庭を中心に日程調整をして住職がお参りさせていただきます。お仏壇のお飾りや仏事作法の疑問・質問にお答えします。お参りをご希望の方はお声掛けください。



●オンライン法要にも対応しています
さまざまな理由で本堂にお参りするのが難しい方のためにインターネットを使って参拝いただけるようにしています。一度ご相談ください。

【書籍紹介】 (ご門主さま最新のご著書)

『仏の教え』 (幻冬舎・大谷光淳著・税込1430円)

「お経は何のために唱えるのですか?」「悪いことをするとバチが当たりますか?」といった素朴な疑問から仏教の本質に迫る質問まで一問一答形式で答える内容になっており、とても読みやすい本です。

「どんなに辛く悲しい状況に置かれようとも、私はあなたを決して見放さない」という「最強のメッセージ」を発している阿弥陀さまに「おまかせして生きる」ヒントが詰まっています。

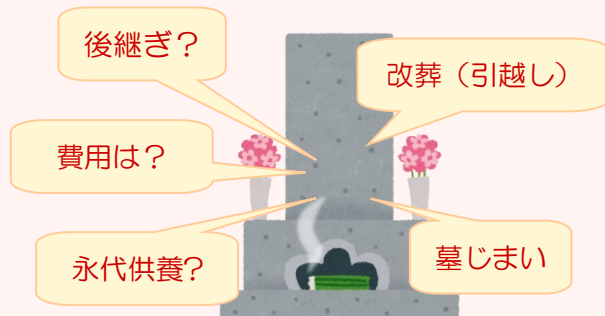




「お墓」について

「お墓」について、お困りのことはありませんか？

“終活、（人生の終わりのための活動）をする中で、自分が入るお墓をどうしようと悩む方もいれば、今のお墓を誰が継いでくれるのか心配という方もいらっしゃるでしょう。安楽寺で永代供養ができるのか知りたいという方がいらっしゃるかもしれません。それぞれの事情により関心事が違うと思います。



お墓について具体的にお困りのことや不安、疑問などがあれば、ぜひ一度ご相談ください。現時点ではとくに問題はないけれど情報だけは知っておきたいという方もどうぞ遠慮なくお声掛けください。

《季節の思い出》



父(前住職)・母(前坊主)と千鳥ヶ淵(皇居のお堀)にお花見に出かけてきました



《番外編》

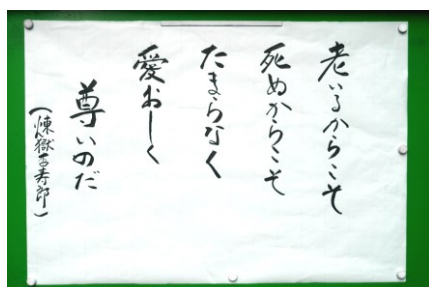
ゾウの置き物が下駄箱→
の上に並んでいます
(安楽寺名物?!)

←住職(60歳)の近影です

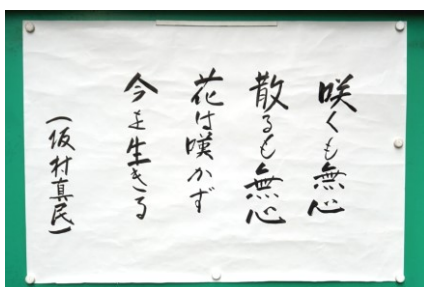


月々の言葉 ～安楽寺 伝道掲示板から～

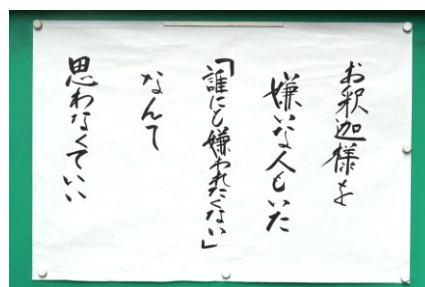
お寺の入り口に、その時々々の伝道の言葉を掲げています。(筆：前住職)



2021年2月



2021年3月



2021年4月

令和3年の永代経法要について

安楽寺では毎年5月10日に永代経法要をお勤めします。例年は多くの門信徒のみなさまにお参りいただき賑々しくお勤めするのですが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、昨年同様、令和3年 安楽寺永代経法要は 総代さんと寺の者でお勤めいたします。

なお、インターネットを通じて法要の様子をご覧いただけるようにライブ配信も行いますので、宜しければ画面を通してご参詣ください。

<https://www.anraku-ji.org/live.html>

日時:5月10日(月)午後1時～

※当日は約30分前から視聴可能で、終了後にも視聴可能です



温かいご支援をありがとうございます

寺の玄関に入って右手に「使用済み切手」の回収 Box が置いてあります。みなさんが少しずつ持ち寄ってくださって、たくさん集まりました！ありがとうございます。

先日、港区社会福祉協議会に寄付してきました。地域ボランティア推進事業のために活用されるそうです。



「定例法話会」の今後の予定(毎月第3日曜日 午後2時～)

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。いつでもご参加ください。

4月18日(日) 5月16日(日) 6月20日(日)